

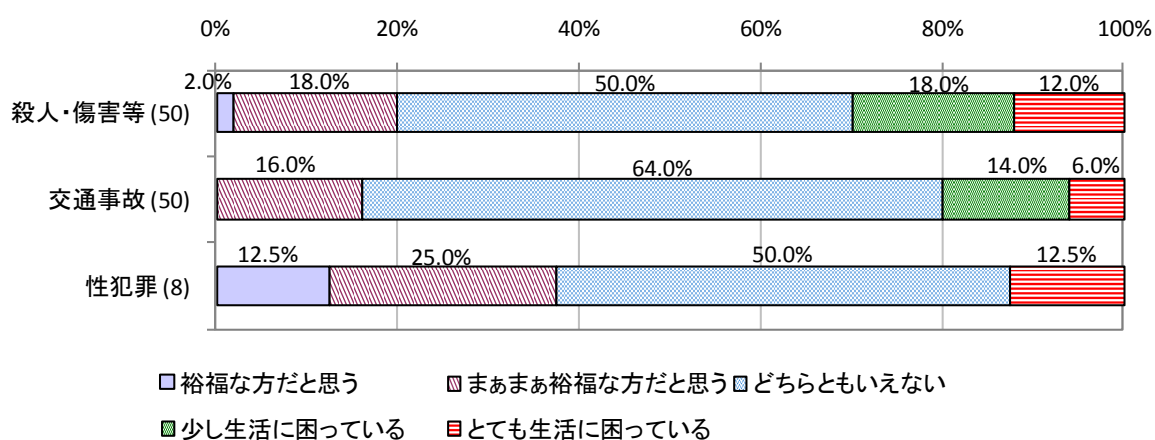
2-2-3 経済状況について

(1)現在の生活をどのように感じているか（パネル調査_問9）

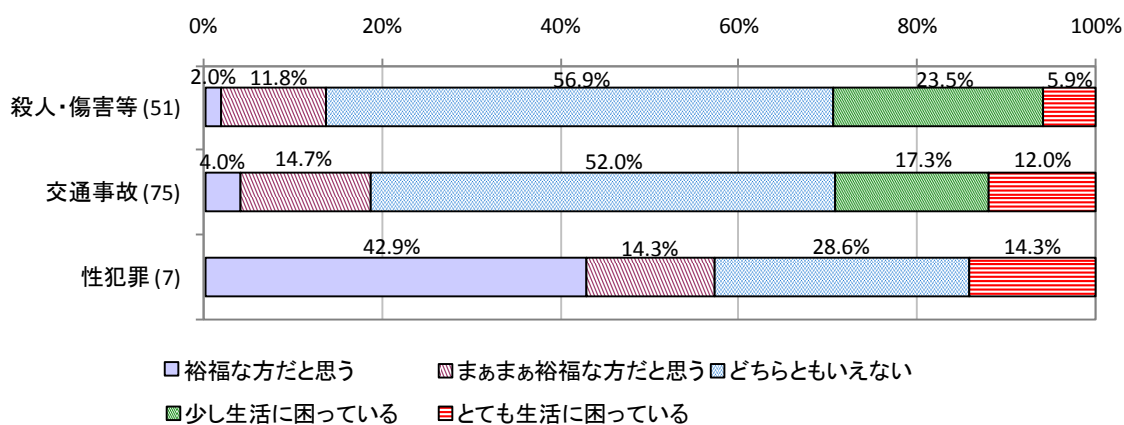
現在の生活をどのように感じているかについて、類型別では殺人・傷害等で50%、交通事故で64%、性犯罪で50%と、全ての類型で「どちらともいえない」が最も多い。

また、性犯罪では38%が「裕福な方だと思う」もしくは「まあまあ裕福な方だと思う」としている。「少し生活に困っている」と「とても生活に困っている」の合計は、年々減少傾向にある。

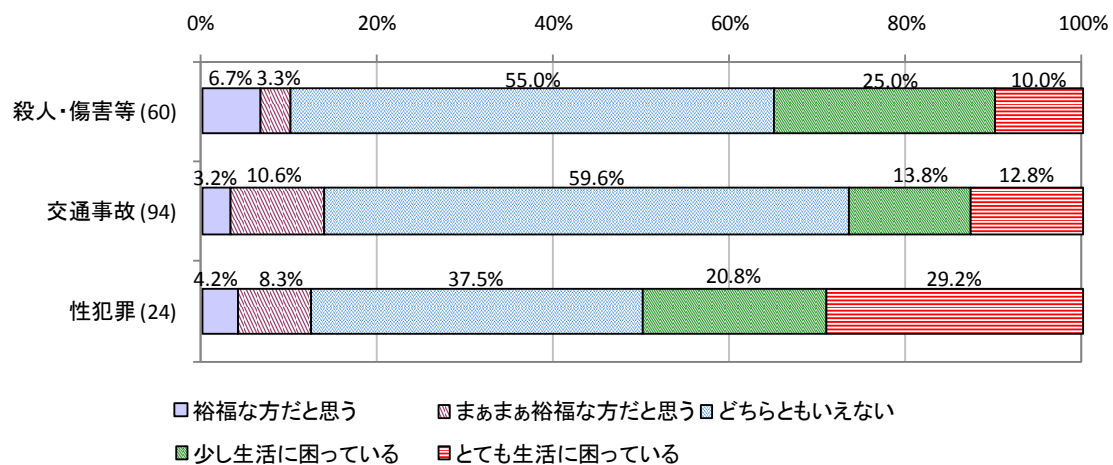
図表 2-4-3 被害類型×現在の生活をどのように感じているか（平成21年度）



図表 2-4-4 被害類型×現在の生活をどのように感じているか（平成20年度）



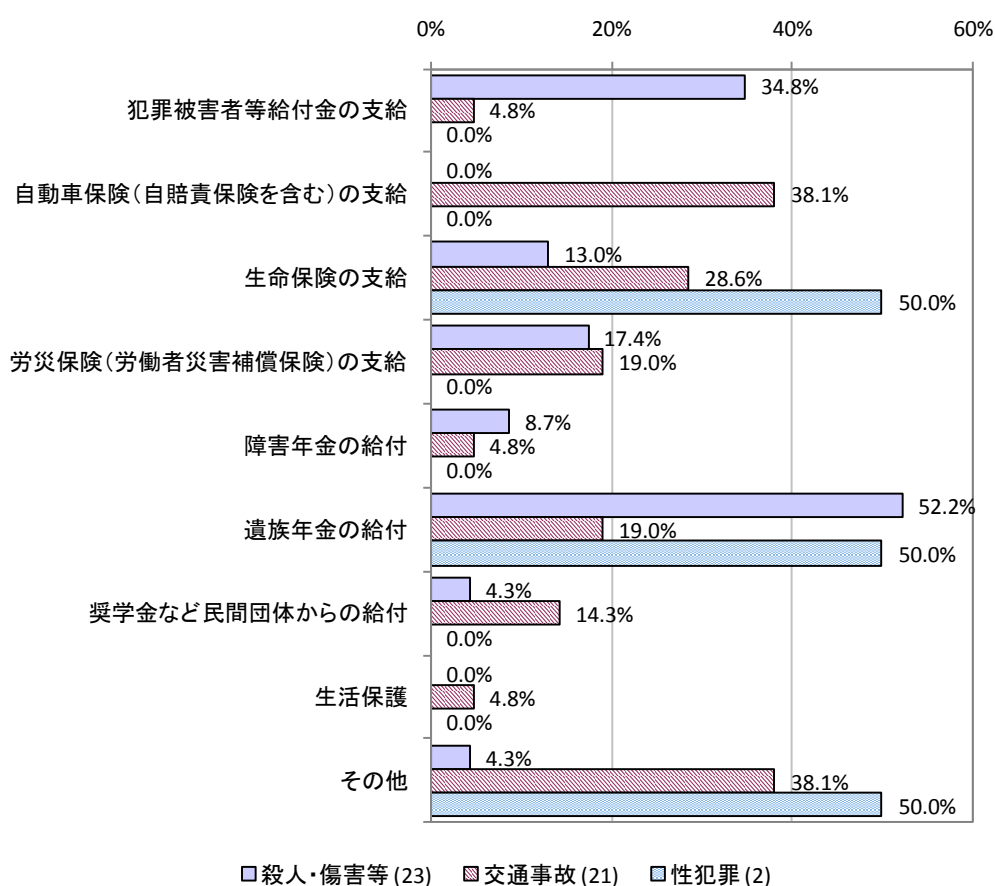
図表 2-45 被害類型×現在の生活をどのように感じているか（平成19年度）



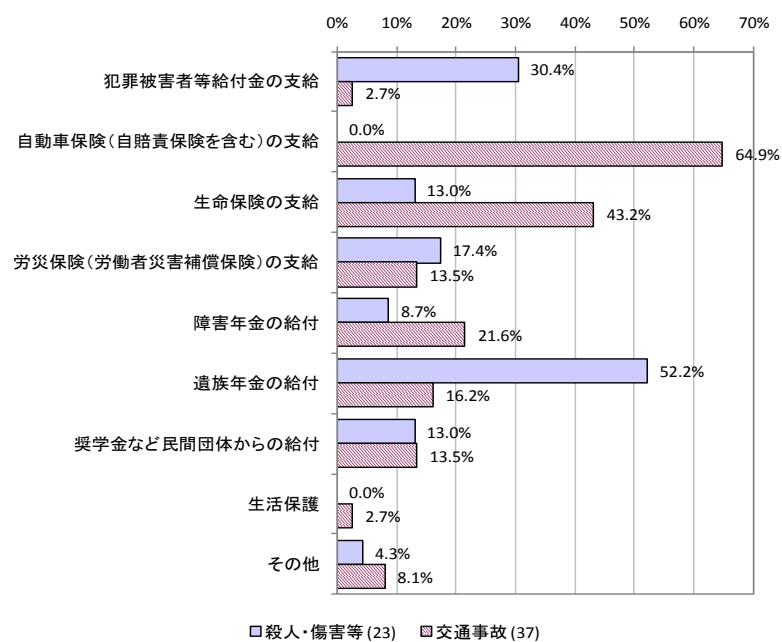
(2)この1年間に事件に関連して受けた給付や支給（パネル調査_問10）

この1年間に受けた給付や支給について質問したところ、殺人・傷害等では「遺族年金の給付」が52%と最も多く、交通事故では、「自動車保険の支給」が38%と最も多くなっている。経年では、多くの支給や給付について、受けている割合が減っており、事件後数年経過後の新規給付割合が低いことがわかる。

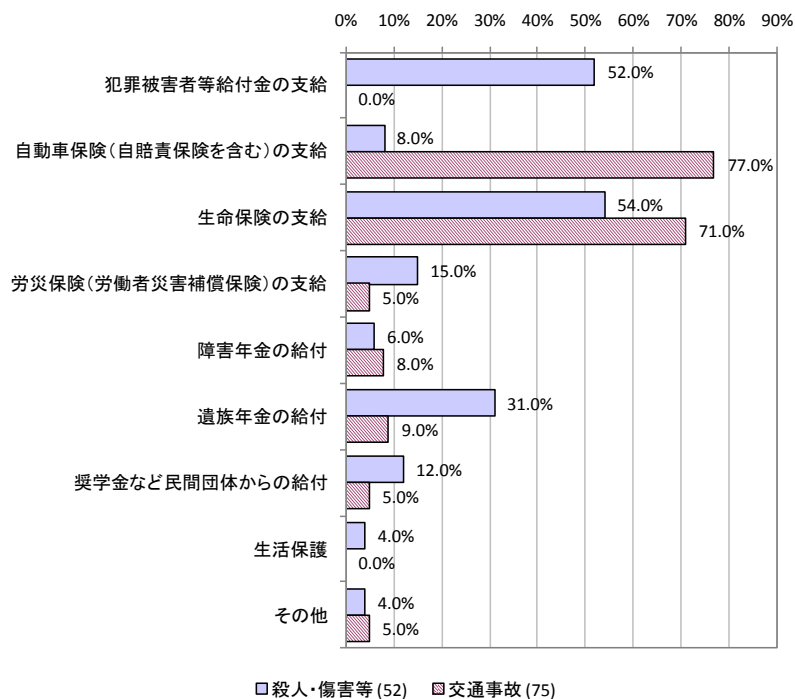
図表 2－46 被害類型×事件に関連して受けた給付や支給（平成21年度）



図表 2-47 被害類型×事件に関連して受けた給付や支給（平成20年度）



図表 2-48 被害類型×事件に関連して受けた給付や支給（平成19年度）



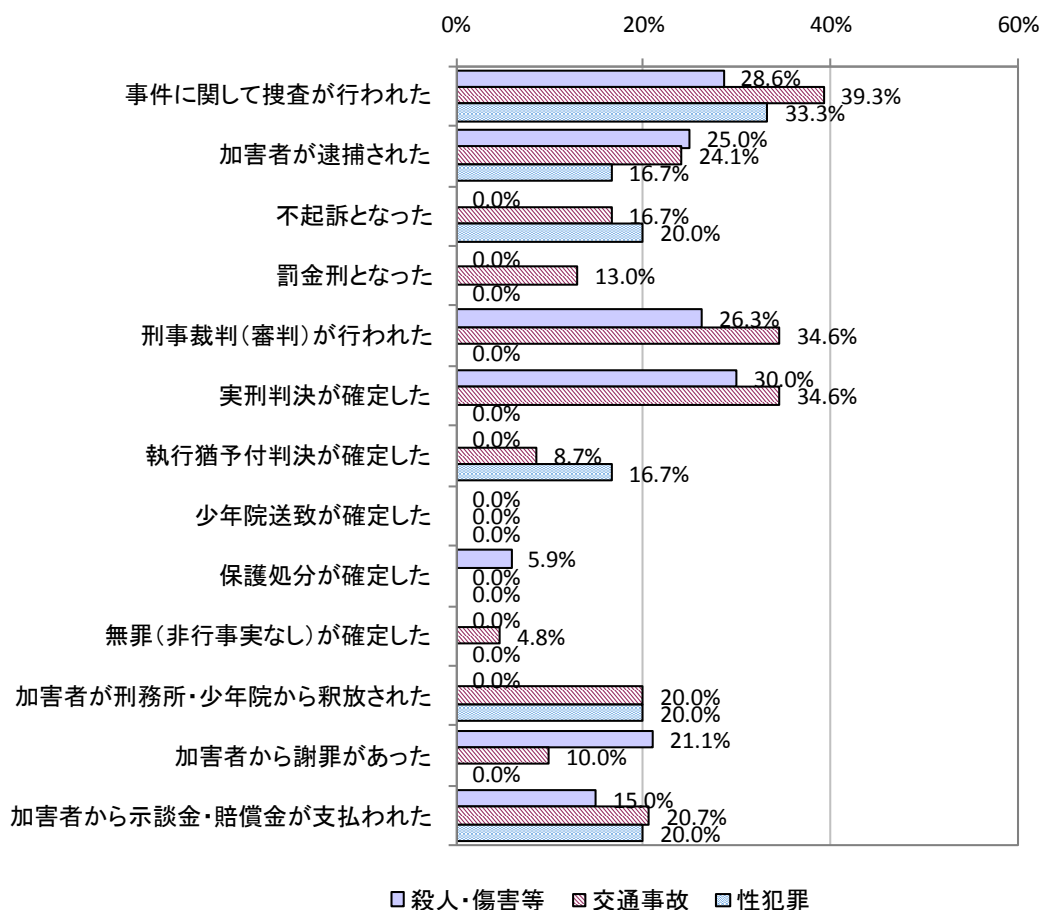
※平成19年度、平成20年度は性犯罪の回答なし

※平成19年度の数値は、「事件から現在（平成19年度調査時点）までの間に受けた給付や支援」であることに留意。

(3)この1年間の事件に関する様々な出来事の実験の有無（パネル調査_問11）

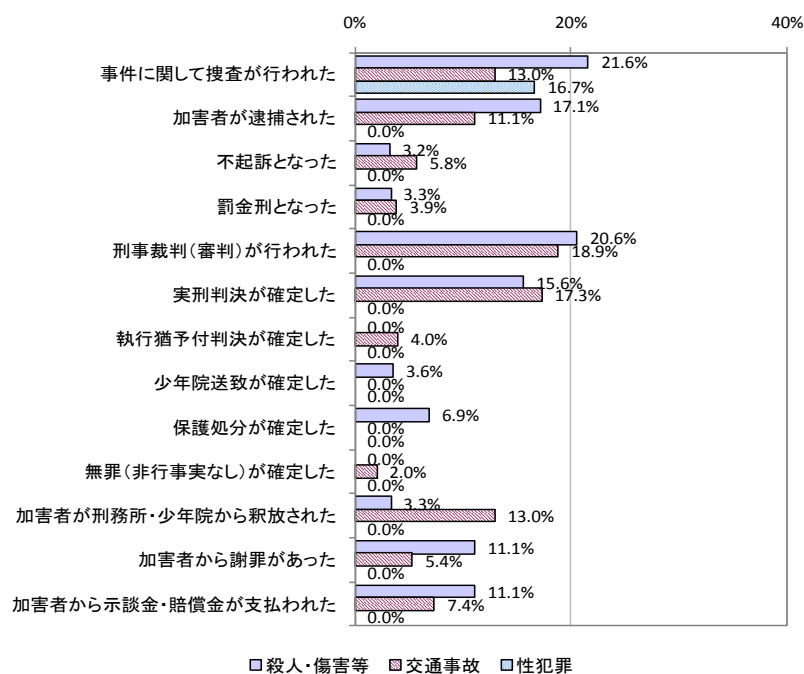
この1年間の事件に関する出来事の実験の有無を質問したところ、全体の傾向として、この1年間にいずれかの出来事を経験したとする人の割合は少ないことがわかる。経験している出来事の中では、「事件に関して捜査が行われた」（殺人・傷害等 29%、交通事故 39%、性犯罪 33%）、「加害者が逮捕された」（殺人・傷害等 25%、交通事故 24%、性犯罪 17%）、「刑事裁判が行われた」（殺人・傷害等 26%、交通事故 35%）、「実刑判決が確定した」（殺人・傷害等 30%、交通事故 35%）とする人の割合が他の項目と比べてやや高くなっている。経年では、「事件に関して捜査が行われた」、「加害者が逮捕された」等の項目でも、平成20年度よりも平成21年度の方が高い割合となっており、事件後長期にわたり捜査等に関わっていることが推測される。

図表 2-49 被害類型×事件に関する出来事の実験の有無（平成21年度）

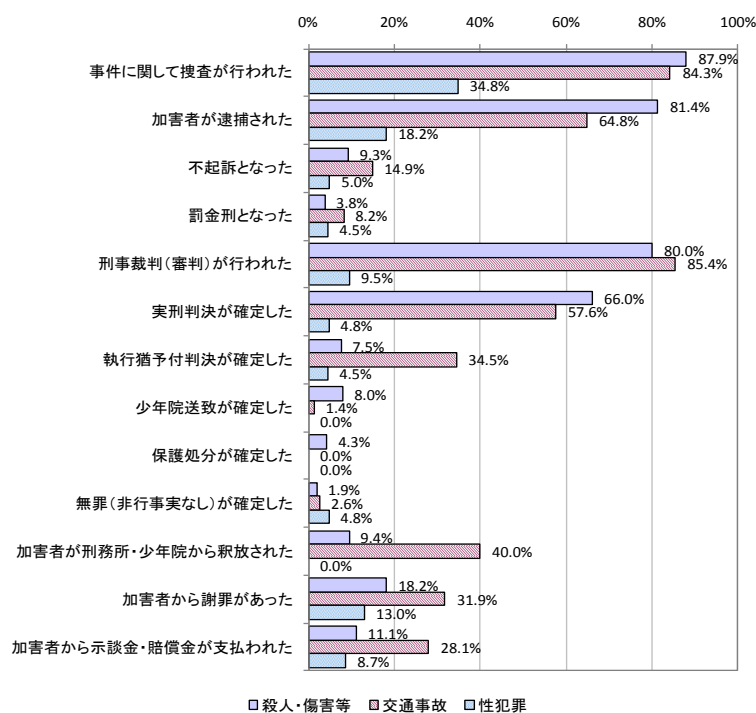


※回答の項目、類型により母数の数値が異なるため、母数及び実数の記載は割愛。以下2か年同様。

図表 2-50 被害類型×事件に関する出来事の有無（平成20年度）



図表 2-51 被害類型×事件に関する出来事の有無（平成19年度）



※平成19年度の数値は、「事件から現在（平成19年度調査時点）までの間に経験した出来事の有無」であることに留意。